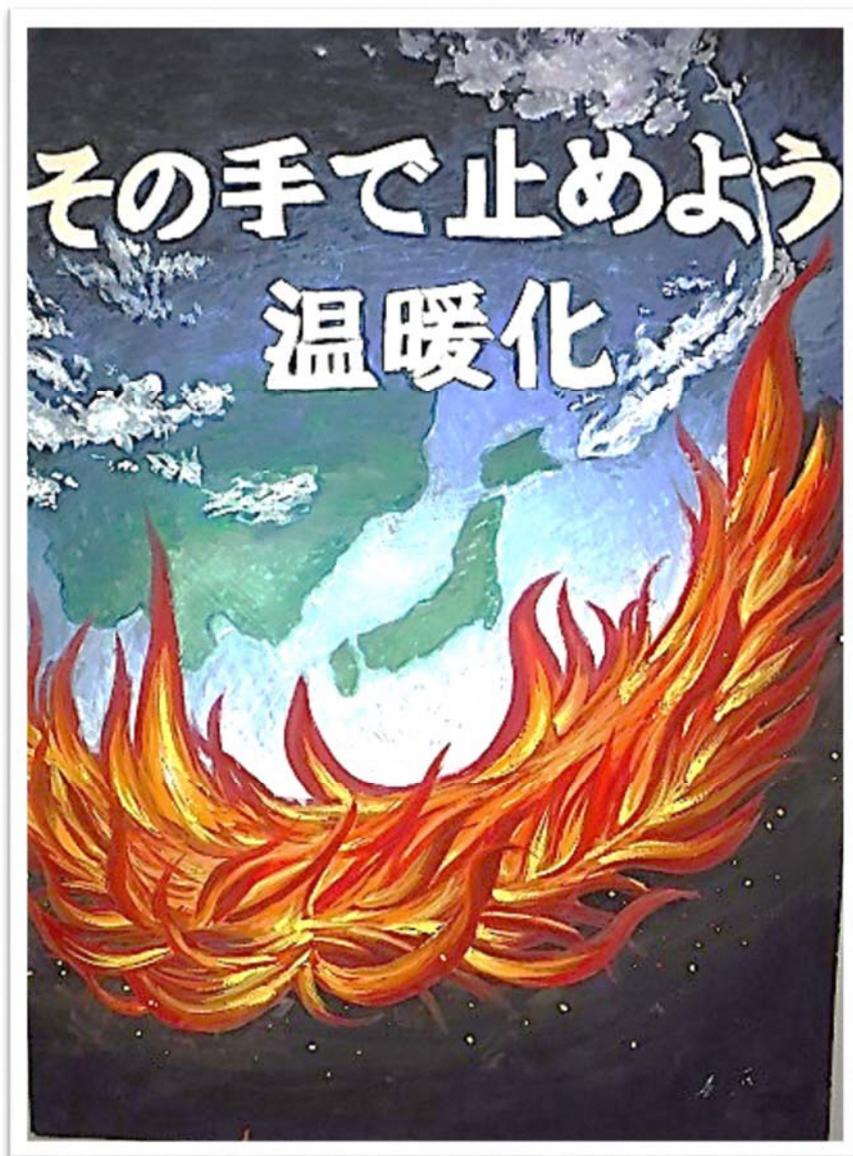


# 第5章 文京区における行動計画 (アクションプラン)

1 施策体系

2 アクションプラン



# 第5章 文京区における行動計画（アクションプラン）

## 1 施策体系

クールアース文京都市ビジョンを達成するため、以下の5分野のアクションプラン\*を推進します。また、各アクションプラン\*に主に関連するSDGsのゴールを設定しました。各主体がアクションプラン\*を実践することで、SDGsのゴールに寄与することとなります。

**クールアース文京都市ビジョン**

エネルギーをかしこく使って豊かに生きる脱炭素のまち 文京  
～ちいさな一歩で未来へつなごう～

アクションプラン*		主に関連するSDGsのゴール
1 省エネルギーの推進	1-1 暮らしにおける環境配慮行動	4 質の高い教育をみんなに、7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに、12 つくる責任、つかう責任、17 パートナシップで目標を達成しよう
	1-2 事業活動における環境配慮行動	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに、9 産業と地域発展の推進をつつくり出す、12 つくる責任、つかう責任、17 パートナシップで目標を達成しよう
	1-3 区の率先行動	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに、12 つくる責任、つかう責任、17 パートナシップで目標を達成しよう
2 再生可能エネルギー*等の利用促進	2-1 再生可能エネルギー*利用	4 質の高い教育をみんなに、7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに、17 パートナシップで目標を達成しよう
	2-2 先進的なエネルギー利用	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに、17 パートナシップで目標を達成しよう
3 スマートシティ*の推進	3-1 環境に配慮した交通手段	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに、11 住み続けられるまちづくりを、17 パートナシップで目標を達成しよう
	3-2 環境に配慮したまちづくり	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに、9 産業と地域発展の推進をつつくり出す、11 住み続けられるまちづくりを、17 パートナシップで目標を達成しよう
4 循環型社会の形成	4-1 家庭系ごみの3R*	11 住み続けられるまちづくりを、12 つくる責任、つかう責任、17 パートナシップで目標を達成しよう
	4-2 事業系ごみの3R*	11 住み続けられるまちづくりを、12 つくる責任、つかう責任、17 パートナシップで目標を達成しよう
5 気候変動の影響への適応	5-1 自然災害対策	11 住み続けられるまちづくりを、13 気候変動に具体的な対策を、17 パートナシップで目標を達成しよう
	5-2 健康被害に関する対策	13 気候変動に具体的な対策を、17 パートナシップで目標を達成しよう
	5-3 暑熱対策	13 気候変動に具体的な対策を、17 パートナシップで目標を達成しよう
	5-4 自然生態系に関する対策	11 住み続けられるまちづくりを、13 気候変動に具体的な対策を、15 陸の豊かさも守ろう、17 パートナシップで目標を達成しよう

## 2 アクションプラン

### 1 省エネルギーの推進

地球温暖化の緩和には、使用するエネルギーを減らす取組が必要です。省エネルギーを進めることは、住環境や職場環境の改善、健康増進、経済的なメリット等、さまざまな効果にもつながります。

区は、家庭における省エネルギー行動や、事業所における省エネルギー型の事業活動を支援・促進するための、普及啓発や各種事業を実施します。また、文京区役所地球温暖化対策実行計画に基づき、区職員や区有施設における率直的な省エネルギーの取組を実践します。

区民・団体、事業者は、日常において、身近な省エネルギーに配慮して行動するとともに、省エネルギー型の家電、オフィス設備・機器の導入や建築物の省エネルギー改修等を進めることが重要です。また、事業者においては、事業活動そのものの気候変動対策を推進するとともに、消費者等に対して、省エネルギーや環境に配慮した暮らしや行動を促進していくことが求められます。

#### 1-1 暮らしにおける環境配慮行動



家庭でのエネルギー使用によって排出される二酸化炭素は、区全体の排出量の約 3 割を占めています。区では今後 10 年間にわたって世帯数の増加が予想されており、エネルギー使用量の削減のためには、区民一人一人による省エネルギーの取組が欠かせません。

家庭での省エネルギー設備等の導入や、日常生活での省エネルギー行動に取り組むことが重要です。

#### 1-2 事業活動における環境配慮行動



オフィスビル等の業務からの二酸化炭素排出量は、区全体の排出量の 5 割以上を占めています。都心に位置する文京区では、今後も活発な事業活動の継続が予想されます。

事業所では、省エネルギー設備・機器の導入検討等のオフィスの省エネルギー化の取組や、事業活動の省エネルギー化を行うことが重要です。

#### 1-3 区の率直行動



区は、一事業者として、二酸化炭素排出量を削減していく必要があるとともに、区民・団体、事業者の取組をリードする役割を担っています。

そのため、区有施設や、区の事業活動における省エネルギー化や環境配慮に取り組み、二酸化炭素排出量の削減を推進します。

区

1-1 暮らしにおける環境配慮行動

省エネルギー型家庭用機器の導入支援及び情報提供や啓発による日常生活における省エネルギー行動の促進

- 省エネルギー設備（家庭用燃料電池、蓄電池\*等）設置助成
- 省エネルギー効果がある移動手段の啓発（エコドライブ（急発進をやめる、加減速の少ない運転等）、自転車利用等）
- コミュニティバス「B-ぐる」、電車等の公共交通機関の利用促進
- 次世代自動車\*（電気自動車、燃料電池自動車等）に関する情報提供
- 使用電力量等が把握できる簡易型電力量表示器等の機器貸出
- 家庭向け節電促進事業の実施
- 環境に配慮した消費者（グリーンコンシューマー\*）行動の普及促進
- 家庭の日啓発事業（植物の種の配付等）の実施
- 公衆浴場の利用により省エネルギーとなる、湯遊入浴デー、シニア入浴事業の実施

1-2 事業活動における環境配慮行動

省エネルギー機器導入支援策及び事業活動における省エネルギー行動の促進

- 低炭素建築物の認定
- 省エネルギー設備設置助成
- 中小企業への省エネルギーの促進（持続可能性向上支援（省エネ設備）補助、融資あっせん）
- 省エネルギー診断\*の促進
- 事業所におけるエネルギー管理の普及啓発
- 環境に配慮した消費者（グリーンコンシューマー\*）行動の普及促進
- 省エネルギー効果がある移動手段の啓発（エコドライブ、自転車利用等）
- コミュニティバス「B-ぐる」、電車等の公共交通機関の利用促進
- 次世代自動車\*に関する情報提供
- 大学等との省エネルギー対策に関する協議・情報共有

### 1-3 区の率先行動

区有施設における省エネルギー設備・機器等の導入等、建築物における各種省エネルギー対策及び区職員の率先的な環境配慮行動の実践

- 改修等の際の、高効率、高性能機器・設備への更新
- 庁舎における改修等の際の各種衛生機器の節水器具への更新
- 庁舎における照明機器の LED\*化及び自動調光センサーの導入
- 庁舎における太陽光発電設備の設置の検討
- 庁舎における BEMS\*（ビルの照明や空調等のエネルギー消費の効率化を図るためのエネルギー管理システム）の導入検討
- 庁舎における空調機等への変風量制御の導入、CO<sub>2</sub>測定センサーの導入検討
- 庁舎における日射遮蔽設備の導入（日射調整・断熱フィルム貼工事、既存ブラインド更新等）
- 次世代自動車\*の導入
- 区有施設での省エネルギー指導実施
- カーボン・オフセット\*導入の検討
- 区有施設への環境に配慮した資材等の活用
- グリーン購入\*及び環境配慮契約法\*の推進
- RPA（ロボットによる業務自動化）・AI（人工知能）等の活用による業務改善
- 各主体で構成する協議会の開催
- 日常的な省エネルギー行動の実施（クールビズ・ウォームビズ\*の実施、ノー残業デー・月間の実施、省エネルギー型 OA 機器の導入、不要な照明の消灯、階段の 2 アップ 3 ダウン、紙類使用量及び印刷物削減の促進等）

#### 【周知・啓発】

区ホームページ、各種イベント、講座等、さまざまな媒体、機会を利用した、多様な世代に省エネルギーの取組が習慣づくような情報提供・普及啓発及びクールアースフェア等の気候変動対策のためのイベント実施

- 区報・ホームページ・SNS\*・CATV・チラシによる情報発信
- 文京版クールアース・デー\*における身近な取組の情報発信
- 計画概要版の配付による啓発
- クールアースフェア等の気候変動対策に関する各種イベントの開催
- 親子環境教室、環境ライフ講座等の環境学習の機会の提供及び人材の育成・活用
- 次世代を担う子どもたちへの環境教育の推進
- 若年層向けの SNS\*等を活用した情報発信
- 国・東京都・関係機関等の関連情報提供
- 省エネルギー設備導入に関する国や東京都等の助成事業紹介
- 「明日通信（文京区地球温暖化対策ニュース）」、「シビックセンターニュース」の発行による職員への啓発
- 「地球温暖化」に関する職員研修の実施

## 区民・団体

### 1-1 暮らしにおける環境配慮行動

高効率機器等の導入による住宅の省エネルギー化及び環境に配慮した製品や交通手段の選択等  
日常生活での省エネルギー行動

- 住宅の省エネルギー化（新築・改修の際の ZEH\*化、断熱化等）
- 省エネルギー機器や設備（トップランナー基準\*達成機器、高効率給湯器\*・照明器具（LED\*）等）の導入
- 簡易型電力量表示器等や環境家計簿\*活用による家庭でのエネルギー使用量の把握
- 他の世帯とのエネルギー消費量の比較
- コミュニティバス「Bーぐる」、電車等の公共交通機関の利用
- 徒歩または自転車の利用
- エコドライブの実践
- 次世代自動車\*への買替え
- 日常的な省エネルギー行動（冷暖房の温度設定、クールビズ・ウォームビズ\*、不要な照明の消灯、待機電力の削減等）の実践
- 環境に配慮した製品の購入
- 毎月 7 日の文京版クールアース・デー\*に省エネルギー行動を実践
- 各種イベント、講座の開催や、支援・参加
- 省エネルギーに関する情報収集、理解、普及啓発
- 活動の情報発信、人材育成
- 省エネルギー化へのアドバイスの実施

## 事業者

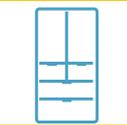
### 1-2 事業活動における環境配慮行動

省エネルギー診断\*等を活用したエネルギーの見える化、高効率機器等の導入により建物の省エネルギー化及び環境に配慮した製品や交通手段を選ぶ等の職場や事業活動での省エネルギー行動

- 建物の省エネルギー化（ZEB\*化、断熱化等）
- 省エネルギー機器や設備（トップランナー基準\*達成機器、高効率空調機・給湯設備・ボイラ・照明器具（LED\*）等）の導入
- エネルギーの見える化の実施
- 同業種の他事業者とのエネルギー消費量の比較、情報交換
- 事業所におけるエネルギー管理（BEMS\*の導入、外気取り入れ量の適正化、換気設備管理の適正化等）の実践
- 省エネルギー診断\*の利用
- コミュニティバス「Bーぐる」、電車等の公共交通機関の利用
- 徒歩または自転車の利用
- 自転車での通勤や移動を促すための、駐輪場の確保

- エコドライブの実践
- 次世代自動車\*への買替え
- 職場での個人レベルの省エネルギー（クールビズ・ウォームビズ\*、不要な照明の消灯、OA 機器の省エネルギーモードの活用・不要時の電源オフ、階段の2 アップ3 ダウン等）実践
- 環境に配慮した製品の購入
- 毎月7日の文京版クールアース・デー\*に省エネルギー行動を実践
- 省エネルギーに関する研修等の実施
- テナント事業者等への省エネルギーに関する理解促進
- 各種イベント、講座の開催や、支援・参加
- 地球温暖化対策報告書制度\*（東京都）への参加

二酸化炭素排出量の大幅な削減のためには、一人一人の行動を積み重ねることが大切です。環境に配慮した行動は、身の回りで簡単にできるだけでなく、実は節約にもつながるものがたくさんあります。習慣的に取り組んで、二酸化炭素排出量削減と家計の節約を同時に実現しましょう！

		CO <sub>2</sub> 削減量	＝	¥ 家計のオトク
	<b>フィルターをこまめに掃除する(月 2 回程度)</b> ※ フィルターが目詰まりしているエアコン(2.2kW)とフィルターを清掃した場合の比較	15.6kg	＝	830 円
	<b>テレビ画面は明るすぎないように設定する</b> ※ テレビ(液晶：32V 型)の画面の輝度を最適(最大⇒中間)にした場合	13.3kg	＝	700 円
	<b>冷蔵庫に物を詰め込まないようにする</b> ※ 冷蔵庫に物を詰め込んだ場合と、半分にした場合の比較	21.4kg	＝	1,140 円
	<b>電気ポットの長時間保温はやめる</b> ※ 電気ポットで水 2.2L を沸騰させ、1.2L を使用后、6 時間保温状態にした場合と、プラグを抜いて保温せず使用時に再沸騰した場合の比較	52.6kg	＝	2,800 円
	<b>こまめにシャワーを止める</b> ※ 40℃のお湯を流す時間を 1 日 1 分間短縮した場合ガスのみで比較	27.8kg	＝	1,390 円
	<b>洗顔や歯磨き中、水の流しっぱなしをやめる</b> ※ 1 人 1 日 1 回、1 分間水の流しっぱなし(12L)をため洗い(2L)にした場合	2.6kg	＝	890 円
	<b>ふんわりアクセル「e スタート」をする</b> ※ 最初の 5 秒で時速 20 km が目安。2,000 cc 普通乗用車/年間 10,000 km 走行とし、平均燃費 11.6 km/L で計算	194kg	＝	10,030 円
	<b>アイドリングストップをする</b> ※ 30 km ごとに 4 分間の割合で行うものとし、2,000 cc 普通乗用車/年間 10,000 km 走行とし、平均燃費 11.6 km/L で計算	40.2kg	＝	2,080 円

地球上には、およそ 14 億 km<sup>3</sup> の水があるといわれていますが、そのうち海水、氷河、地下水を除くと、私たちが利用しやすい河川水や湖沼水は地球上の水のわずか 0.01% に過ぎないといわれています。

	<b>節水も取り組もう！</b> 【例】・食器を洗う前に油汚れ等をふき取る 【例】・米のとぎ汁は植木の水やりに再利用
---	--

**合計 ¥19,860 円/年間**

習慣にすると  
こんなにオトク!!

注) 電気：26 円/kWh、ガス：108.3 円/m<sup>3</sup>、ガソリン：120 円/L として算出。数値は目安です。削減料金や CO<sub>2</sub> 排出削減量は、使用方法や使用機器等条件により異なります。

出典) 家庭の省エネハンドブック 2018 (東京都)、家庭の省エネ徹底ガイド春夏秋冬 2017 年 (資源エネルギー庁)、生活排水読本 (環境省) より作成

## 2 再生可能エネルギー等の利用促進

太陽光や風力、水力等に代表される再生可能エネルギー\*からつくられた電気や熱、そして水素等を利用することで、二酸化炭素排出量の大幅な削減につながります。

区においては、区民や事業者が利用しやすいよう、再生可能エネルギー\*等設備の導入支援及び各種助成制度等の情報提供を行い、普及を促進していきます。また、水素エネルギー等の新しい技術及び次世代自動車\*を活用した給電、広域連携による再生可能エネルギー\*利活用等の先進的なエネルギー利用について、導入検討と普及促進を行います。

区民・団体、事業者がそれぞれ、家庭や事業所での再生可能エネルギー\*の利用、先進的なエネルギー利用について検討し、積極的な導入を進めることが重要です。

### 2-1 再生可能エネルギー利用



家庭や事業所、新築、改築する区有施設への再生可能エネルギー\*の導入を検討していくことが重要です。

### 2-2 先進的なエネルギー利用



水素エネルギー利用や災害時等に自立したエネルギー供給が可能となる次世代自動車\*の利活用等、先進的なエネルギー利用策の導入について検討していくことが重要です。

## 各主体のアクションプラン

### 区

#### 2-1 再生可能エネルギー利用

家庭への再生可能エネルギー\*等設備の導入支援及び区有施設における再生可能エネルギー\*の利用検討

- 再生可能エネルギー\*設備（太陽光発電システム）設置助成
- 公衆浴場クリーンエネルギー化等事業補助
- 新築・改築する区有施設における太陽光・太陽熱等の再生可能エネルギー\*利用の検討
- 大学等との再生可能エネルギー\*対策に関する協議・情報共有

## 2-2 先進的なエネルギー利用

水素エネルギーに関する区民・団体、事業者への情報提供・普及啓発、地域における利活用方策の検討及び次世代自動車\*の活用による電力利用検討

- ④ 先進的なエネルギー設備（家庭用燃料電池）設置助成
- ④ 地域における水素の利活用方策の検討
- ④ 水素エネルギーの利活用意義、水素の安全性やリスクに関する普及啓発
- ④ 次世代自動車\*を活用した給電等、新たな電力利用の検討
- ④ 大学等との先進的なエネルギー対策等に関する協議・情報共有
- ④ 広域連携による再生可能エネルギー\*利活用の調査・検討

### 【周知・啓発】

各種イベント、講座等における再生可能エネルギー\*や先進的なエネルギー利用に関する区民・団体、事業者に対する情報提供・普及啓発

- ④ 区報・ホームページ・SNS\*・CATV・チラシによる情報発信
- ④ クールアースフェア等の気候変動対策に関する各種イベントの開催
- ④ 親子環境教室、環境ライフ講座等の環境学習の機会の提供及び人材の育成・活用
- ④ 次世代を担う子どもたちへの環境教育の推進
- ④ 国・東京都・関係機関等の関連情報提供
- ④ 再生可能エネルギー\*設備導入に関する国や東京都等の助成事業紹介

## 区民・団体

### 2-1・2-2 再生可能エネルギー利用・先進的なエネルギー利用

住宅等への再生可能エネルギー\*等設備の導入・イベントや講座に参加する等による情報収集

- ④ 再生可能エネルギー\*設備・先進的なエネルギー設備の導入
- ④ 次世代自動車\*とV2H（次世代自動車\*から住宅に電力を供給するシステム）の導入検討
- ④ 各種イベント、講座の開催や、支援・参加
- ④ 再生可能エネルギー\*や水素エネルギー等の情報収集、理解、普及啓発

## 事業者

### 2-1・2-2 再生可能エネルギー利用・先進的なエネルギー利用

建物への再生可能エネルギー\*等設備の導入・水素エネルギーの利活用方策の検討

- ④ 再生可能エネルギー\*設備・先進的なエネルギー設備の導入
- ④ 水素エネルギーの利活用
- ④ 次世代自動車\*を活用した給電等、新たな電力利用の検討
- ④ 各種イベント、講座の開催や、支援・参加
- ④ 再生可能エネルギー\*や水素エネルギー等の情報収集、理解、普及啓発

### 3 スマートシティの推進

一人一人の省エネルギー行動や設備等の省エネルギー化に加えて、区全体で、エネルギーをより効率よく使い、二酸化炭素排出抑制につながるまちづくりを進める必要があります。

区においては、区民や事業者に対し、環境に配慮した交通手段の利用を呼びかけるとともに、公共交通機関や自転車の利用環境の整備・改善に取り組みます。また、再開発等に合わせた効率的なエネルギー利用の検討や、緑化を促進していきます。

区民・団体、事業者は、日常生活や事業活動において、徒歩・自転車・公共交通機関等、より環境負荷の少ない交通手段の利用に努めるとともに、家庭や事業所の緑化を進めていくことが必要です。

また、事業者が開発事業等を行う際には、エネルギー効率の向上、再生可能エネルギー\*の導入等、環境に配慮したまちづくりを行うことが必要です。

#### 3-1 環境に配慮した交通手段



コミュニティバスや電車等、環境に配慮した交通手段を利用し、自転車シェアリング\*の活用や駐輪場確保等、総合的な自転車利用環境の整備・改善に取り組むことが必要です。

#### 3-2 環境に配慮したまちづくり



再開発等に合わせた効率的なエネルギー利用の検討や、街路樹の維持・保全、敷地内の緑化に取り組むことが必要です。

区

### 3-1 環境に配慮した交通手段

自転車・公共交通機関の利用促進及び自転車利用環境の整備等による運輸部門からの二酸化炭素排出量の削減

- 省エネルギー効果がある移動手段の啓発（エコドライブ、自転車利用等）
- コミュニティバス「B-ぐる」、電車等の公共交通機関の利用促進
- 次世代自動車\*に関する情報提供
- 自転車レーンの整備に向けた関係機関との調整
- 自転車シェアリング\*事業実証実験（サイクルポートの利用状況や交通行動等）
- 自転車走行空間整備
- 総合的な自転車対策の推進（自転車駐車場整備、レンタサイクル事業等）
- 自転車 TS マーク\*取得費用助成事業（定期的な点検整備、保険加入促進、利用者へのルール・マナーの周知・啓発）

### 3-2 環境に配慮したまちづくり

再開発等に合わせた効率的なエネルギー利用の検討、低炭素建築物の促進及び二酸化炭素を吸収するみどりの創出等によるまち全体のエネルギー効率の向上

- 再開発等に合わせた効率的なエネルギー利用の検討
- 建物の新築、改築、改修工事の際の断熱化・設備の高効率化
- 低炭素建築物の認定
- 街路灯・保安灯の LED\*化
- まちづくりと連携したオープンスペースの創出
- ポケットパーク・グリーンスポットの整備
- 文京区みどりの保護条例に基づく緑化指導
- みどりのふれあい事業（緑化啓発、苗木配布、みどりのサポート活動ボランティア）
- 街路樹・植樹帯の保全
- 生垣造成補助、屋上等緑化補助
- 保護樹木・樹林の制度による樹木の維持管理支援
- ZEH\*・ZEB\*等普及のための国等の制度紹介
- 建築物省エネ法の認定制度やラベル等の紹介

## 区民・団体

### 3-1 環境に配慮した交通手段

公共交通機関等やエコドライブ等の環境に配慮した交通手段の利用

- コミュニティバス「Bーぐる」、電車等の公共交通機関の利用
- 徒歩または自転車の利用
- エコドライブの実践
- 次世代自動車\*への買替え

### 3-2 環境に配慮したまちづくり

住宅等への高効率機器や設備の導入、敷地内の緑化及び地域における緑化活動

- 住宅等の省エネルギー化（新築・改修の際の ZEH\*化、断熱化等）
- 敷地内の緑化やみどりのカーテン\*の育成
- 地域における緑化推進活動
- 省エネルギー、再生可能エネルギー\*等利用の普及啓発

## 事業者

### 3-1 環境に配慮した交通手段

公共交通機関等やエコドライブ等の事業活動における環境に配慮した交通手段の利用

- コミュニティバス「Bーぐる」、電車等の公共交通機関の利用
- 徒歩または自転車の利用
- 自転車での通勤や移動を促すための、駐輪場の確保
- エコドライブの実践
- 次世代自動車\*への買替え

### 3-2 環境に配慮したまちづくり

開発時等におけるエネルギーの面的利用の検討及び敷地内の緑化

- エネルギーの面的利用（地区・街区レベルの複数の建物間でのエネルギー融通）の検討
- 建物の省エネルギー化（ZEB\*化、断熱化等）
- 敷地内の緑化やみどりのカーテン\*の育成

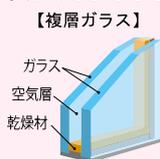
熱は壁、床、天井、そして窓から逃げていってしまうので、これらの断熱性が高いと、暖房や冷房に使うエネルギーを減らすことができ、室内の温度差も少なく、快適に過ごすことができます。特に、室内への熱の出入りは、大半が「窓」からであるため、建物の改修時等に断熱性能の高い部材の窓にすることで、冷暖房に必要なエネルギーを減らすことができます。

■断熱リフォームのメリット

・カビが発生しなくなった	・窓から冷気を感じなくなった	・窓の結露がなくなった
・部屋ごとの温度差が小さくなった	・冷暖房の効きが良くなった	

窓断熱

断熱リフォームを検討するなら、まずは効果の高い窓から。断熱リフォームすることで室内側の結露防止、防音等にも効果があります。また製品によっては防犯性が向上します。



天井断熱

夏の天井裏の気温は 50℃以上に達することもあります。天井裏に断熱材を敷き詰めることで夏は室内の火照りを抑え、冬は室内から熱が逃げていくのを防ぎ冷暖房効果を高めます。

外壁断熱

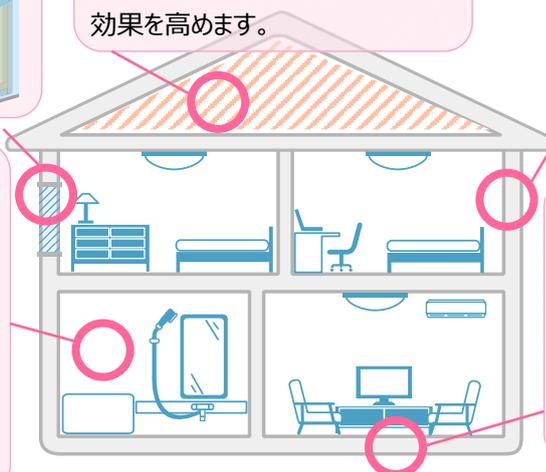
外壁に断熱材を施工して夏は室内への熱の侵入を、冬は熱の流出を防ぎます。これによって冷暖房効果が高まり省エネになります。

浴室断熱

浴室リフォームにあわせて、窓や躯体を断熱施工することや断熱タイプのユニットバスに交換することで暖かい浴室に生まれ変わります。さらに、浴槽に保温材のついたユニットバスにすることで、湯温も下がりにくくなります。

床断熱

冬の冷たさは足元から感じるものです。床下にマット・ボード状等の断熱材や気流止めを施工することで、冷気の侵入や底冷えを防止します。



出典) COOL CHOICE ウェブサイト (環境省) より作成

また、高断熱住宅は部屋ごとの温度差が小さいため、ヒートショック\*が起こりにくくなる等、健康にもさまざまなメリットがあり、国の調査では以下のような知見も得られています。

断熱改修等による居住者の健康への影響調査 (得られつつある知見の例)

- ・室温が年間を通じて安定している住宅では、居住者の血圧の季節差が小さい。
- ・断熱改修後に、居住者の起床時の最高血圧が低下\*
- ・室温が低い家では、コレステロール値が基準範囲を超える人、心電図の異常所見がある人が多い。
- ・断熱改修によって居間や脱衣所の暖房が不要となった場合等に、1日平均の住宅内身体活動時間が増加

※ 厚生労働省は「健康日本 21 (第二次)」にて、40~80 歳代の国民の最高血圧を平均 4mmHg 低下させることで、脳卒中死亡数が年間約 1 万人、冠動脈疾患死亡数が年間約 5 千人減少すると推計しています。

出典) 断熱改修等による居住者の健康への影響調査概要 (国土交通省) より作成

## 4 循環型社会の形成

ごみの発生抑制により、焼却等の処理過程から発生する二酸化炭素の排出を抑制する必要があります。また、資源の有効利用は天然資源の使用抑制につながるため、製品の製造や輸送過程から発生する二酸化炭素の削減にもつながります。

区においては、区民・団体、事業者への周知・啓発を行い、家庭や事業所からのごみの発生抑制、排出量の削減と、資源の再利用により、効率的な資源利用を促進します。

区民・団体、事業者はそれぞれ、日常生活や事業活動から出るごみの削減と資源の有効利用に取り組むことが必要です。



### 4-1 家庭系ごみの3R

日常生活におけるごみの削減や分別等、家庭から出るごみの発生抑制、資源の再使用、再資源化を行うことが必要です。



### 4-2 事業系ごみの3R

事業活動におけるごみの削減や分別等、事業所から出るごみの発生抑制、資源の再使用、再資源化を促進することが必要です。

## 各主体のアクションプラン

### 区

#### 4-1 家庭系ごみの3R

生ごみの減量や食品ロス削減、家庭から出る不用品のリユースの促進及び区民等によるリサイクルの取組支援

- 家庭系ごみにおけるリデュースの推進（Bunkyo ごみダイエット通信の発行、児童向けパンフレットの作成・配布、各種イベントでの普及啓発等）
- 生ごみ減量活動の推進（生ごみ減量講座、エコ・クッキング\*※教室の実施、コンポスト化容器のあっせん等）
- プラスチックごみ削減に向けた取組（レジ袋削減・マイボトル持参の推進や代替できる再生可能資源に関する普及啓発等）
- 食品ロス削減に向けた取組（ぶんきょう食べきり協力店、フードドライブ（家庭で余っている食品等を持ち寄り、広く地域の福祉団体や施設等に寄付するボランティア活動）及び自宅訪問受取サービス、区民向け啓発講座の開催等）

- 🌐 家庭系ごみにおけるリユースの推進（フリーマーケット・子ども用品交換会・無料頒布会の開催、リサイクルショップの情報提供等）
- 🌐 集団回収の拡充（実践団体・回収業者への支援、バス見学会の開催等）
- 🌐 資源回収の拡充（拠点回収拡充の検討、資源の持ち去り対策、雑がみの回収量拡大に向けた普及啓発、粗大ごみの資源化、不燃ごみの資源化の検討等）

※「エコ・クッキング」は、東京ガス（株）の登録商標です。

## 4-2 事業系ごみの3R

ごみ排出に関する事業者への指導や自己処理の促進等の働きかけ及び区有施設における率先的なごみの削減

- 🌐 大規模・中規模事業所の3R\*推進（所有者への指導、廃棄物管理責任者講習会の実施、再生品利用の働きかけ等）
- 🌐 小規模事業所の3R\*推進（R サークルオフィス文京（文京区リサイクル事業協同組合が、区の収集よりも安価な処理料金を小規模の事業所から排出される資源を回収するシステム）の普及、産業界別リサイクルの支援等）
- 🌐 事業系ごみの自己処理の促進（集積所への事業系ごみ排出基準の見直しの検討、一般廃棄物処理業者の情報提供、許可・指導事務等）
- 🌐 区の率先した取組の推進（職員の意識向上、課内不用品の有効活用、区有施設や公共工事における再生品の積極的な利用、プラスチック廃棄物の排出抑制等）

### 【周知・啓発】

区が行うさまざまなイベントや講座等におけるごみの発生抑制、再使用、リサイクル等の啓発による区民、事業者へのごみ削減の促進

- 🌐 区報・ホームページ・SNS\*・CATV・チラシによる情報発信
- 🌐 文京エコ・リサイクルフェア等の各種イベントの開催
- 🌐 エコ先生の特別授業、リサイクル推進サポーター養成講座、生ごみ減量講座等の3R\*推進学習の機会の提供
- 🌐 リサイクル推進協力店の登録
- 🌐 事業者の先進的な3R\*の取組事例の紹介

## 区民・団体

### 4-1 家庭系ごみの 3R

家庭から出る生ごみの削減、資源回収への協力及び各種イベント・講座等への参加

- 🌱 食品ロスの削減（買物前に在庫確認、食べられる期限の定期的な確認、食べられる量だけ盛り付ける等）
- 🌱 フードドライブの活用
- 🌱 皮や茎も捨てずに調理する等、エコなクッキングの取組
- 🌱 生ごみの水切り行動の実施
- 🌱 生活用品や食品の再利用（ステージ・エコ（フリーマーケット）やリサイクルショップ、フードバンク\*の活用）
- 🌱 ごみの分別の徹底や適正排出の実施
- 🌱 資源回収への協力
- 🌱 エコ先生の特別授業、リサイクル推進サポーター養成講座、生ごみ減量講座等の環境学習講座への参加
- 🌱 文京エコ・リサイクルフェア等の各種イベントへの参加

## 事業者

### 4-2 事業系ごみの 3R

各種講習会等への参加等、事業活動における 3R\*及び適正処理

- 🌱 廃棄物管理責任者講習会への参加
- 🌱 再利用計画書の作成・提出
- 🌱 R サークルオフィス文京への参加
- 🌱 生ごみ減量化や生ごみリサイクルの実施
- 🌱 再生品の利用
- 🌱 ごみの分別の徹底
- 🌱 有害廃棄物や産業廃棄物等の適正処理の実施
- 🌱 資源回収への協力

## 5 気候変動の影響への適応

集中豪雨や猛暑日、大型台風等の極端な気象現象等、気候変動は区民生活や都市生活、生態系等へさまざまな影響を及ぼしており、これらに適切に対応していく必要があります。

区においては、今後も国や東京都の動向等の情報収集をしながら、自然災害対策、暑さ対策等、区内で想定される気候変動の影響に関する対策と、区民等への情報提供・注意喚起を行います。

区民・団体、事業者は、気候変動の影響についての理解を深め、熱中症予防等、身の回りで行うことができる対策を進めるとともに、今後起こりうる自然災害等への備えを進めていくことが必要です。

### 5-1 自然災害対策



今後起こりうる大規模自然災害に対する備えを進めるため、浸水や崖崩れの被害の防止・軽減策等の防災対策を行います。区民・団体、事業者に対しては、防災に関する情報収集や災害時の自助・共助を促します。

### 5-2 健康被害に関する対策



暑熱による死亡リスクや、感染症を媒介する蚊の生息域の拡大等について理解し、適切な対応をしていく必要があります。

### 5-3 暑熱対策



街なかの暑さを緩和するため、緑化等の暑熱対策を行います。また、木陰や日陰を歩き、日傘の活用により受熱量や産熱量を減らすほか、クールビズスタイルにして放熱量を増やす等、暑熱ストレスを減らす工夫をすることが重要です。

### 5-4 自然生態系に関する対策



気温上昇により、生物分布や花の開花時期の変化等の影響が生じています。これらの変化をモニタリングし、区における影響を把握しながら、今後の適切な対応について検討し、自然生態系に関する対策に取り組んでいくことが重要です。

区

5-1 自然災害対策

道路の治水対策等の推進、ハザードマップ作成や避難誘導対策及び災害対応の体制整備等による区民等の安全・安心確保

<道路の治水対策等>

- ハザードマップの作成・公表
- 水防災監視システム機器の再整備
- 土砂災害ハザードマップの作成・公表
- ホームページ等による神田川の水位・区内の雨量情報の発信
- 道路における治水対策（雨水浸透ますの整備及び清掃、透水性舗装の整備及び機能回復等）
- 水害用土のうの備蓄及び配付
- 雨水貯留槽設置等の検討
- 雨水流出抑制施設の設置に関する指導
- 雨水タンク導入設置費助成制度
- 崖等整備資金助成事業
- 下水道局との工事等の連携

<避難誘導対策等>

- 避難所機能の拡充検討
- 避難所運営協議会の運営支援（避難所運営能力のスキルアップ、防災士の資格取得支援等）
- 防災対策の充実・強化に向けた備蓄物資の整備
- 区民防災組織の育成（区民防災組織等の活動助成、備蓄品購入費助成等）
- 地域防災訓練等の実施（各種防災訓練等の支援等）
- 避難行動要支援者の支援（要支援者名簿や避難支援計画の作成等）

<災害対応の体制整備等>

- 災害協定の拡充
- 災害時受援・応援計画策定（東京都等の的確な受援体制、他地域の応援体制の構築等）
- 災害時に設置するボランティアセンターの体制整備支援
- 災害医療救護体制の整備充実等の災害時医療の確保
- 次世代自動車\*の活用による災害時の電源確保の検討
- 大規模緑地の機能維持

## 5-2 健康被害に関する対策

気候変動による熱中症発症数の増加や感染症の発症の可能性等について、区民等への情報提供

- 熱中症予防に関する区報・ホームページによる情報発信
- 熱中症予防に関する子どもへの普及啓発
- 熱中症予防に関する高齢者への普及啓発
- 各種イベント時における熱中症予防対策の実施
- 幼稚園、小中学校等での熱中症予防対策の実施
- クールシェア\*スポットの提供
- 感染症予防に関する区報・ホームページによる情報発信
- 予防接種事業の実施
- 大気汚染の動向把握及び東京都環境確保条例に基づく規制指導

## 5-3 暑熱対策

街なかのみどりの確保、遮熱性舗装\*等の推進、打ち水用品の貸出、クールシェア\*スポットの提供及び利用促進等による暑さ対策

- 打ち水用品の貸出
- 遮熱性舗装\*の実施
- 街路樹・植樹帯の保全
- 保護樹木・樹林の制度による樹木の維持管理支援
- 文京区みどりの保護条例に基づく緑化指導
- 生垣造成補助、屋上等緑化補助
- ポケットパーク・グリーンスポットの整備
- クールシェア\*スポットの提供
- 大規模緑地の機能維持

## 5-4 自然生態系に関する対策

気候変動による生態系への影響や、外来種の侵入・定着等の影響に関する情報収集及び対応策検討

- 身近な場所に生きものを呼べる緑化の推進・誘導
- 街路樹・植樹帯の保全
- 保護樹木・樹林の制度による樹木の維持管理支援
- 文京区みどりの保護条例に基づく緑化指導
- 生垣造成補助、屋上等緑化補助
- 神田川水系水質監視連絡協議会における神田川の水質監視
- 外来種等の侵入・拡散防止及び駆除
- 文の京生きもの写真館（区ホームページ）での区内動植物の情報発信
- 定期的な動植物調査の実施検討
- 自然観察会、山村体験交流事業等の自然に触れ合う機会の提供

#### 【周知・啓発】

気候変動による多種多様な影響に関する、区民・団体、事業者への情報提供

- 区報・ホームページ・SNS\*・CATV・チラシによる情報発信
- 文京版クールアース・デー\*における身近な取組の情報発信
- クールアースフェア等の気候変動対策に関する各種イベントの開催
- 親子環境教室、環境ライブ講座等の環境学習の機会の提供及び人材の育成・活用
- 国・東京都・関係機関等の関連情報提供

## 区民・団体

### 5-1 自然災害対策

ハザードマップ等による危険箇所の確認及び災害発生時の適切な対応に関する情報収集

- ④ 洪水、水害及び土砂災害ハザードマップの確認
- ④ 区ホームページ、SNS\*、「文の京」安心・防災メールによる災害情報の収集
- ④ 防災訓練への参加
- ④ 災害発生時の対処法の理解

### 5-2 健康被害に関する対策

熱中症・感染症についての正しい理解及び予防対策

- ④ 熱中症・感染症の原因と予防に関する情報収集
- ④ 熱中症・感染症の予防対策
- ④ 熱中症・感染症の発生時における対処法の理解

### 5-3 暑熱対策

街なかでの暑熱ストレスを減らす工夫及び敷地内の緑化等による暑さ対策

- ④ 暑熱ストレスを減らす工夫等による街なかでの暑さ対策
- ④ 国等による暑さ対策の情報収集
- ④ 敷地内の緑化やみどりのカーテン\*の育成
- ④ 打ち水の実施

### 5-4 自然生態系に関する対策

自然と触れ合う講座等への参加、認証品の活用や敷地内の緑化等による生物多様性への配慮

- ④ 区ホームページ等による区内動植物情報の確認
- ④ 自然観察会や自然に関わる講座等、自然と触れ合う機会の提供、参加
- ④ 外来種の影響や取扱いへの理解
- ④ 認証品（森林認証、漁業認証等）の活用
- ④ 敷地内の緑化
- ④ 地域における緑化推進活動

## コラム

### 効率よく省エネ対策をしよう



節電は気候変動対策として重要な取組ですが、夏の暑い時期にエアコンの使用を控える等の行動は、逆に熱中症等の健康へのリスクとなってしまいます。家庭の中ではさまざまな家電製品が使われているため、身の回りを見渡して、節電できるところを探してみましょう。

### 5-1 自然災害対策

災害発生時の適切な対処についての理解及び非常時における電源確保等の検討

- ☉ 災害発生時の対処法の理解
- ☉ 災害協定の締結
- ☉ 再生可能エネルギー\*と蓄電池\*等の導入、次世代自動車\*の活用による非常時の電源確保

### 5-2 健康被害に関する対策

熱中症・感染症についての正しい理解及び職場や主催イベント等における予防対策

- ☉ 熱中症・感染症の原因と予防に関する情報収集
- ☉ 職場における熱中症・感染症の予防対策
- ☉ 熱中症・感染症の発生時における対処法の理解
- ☉ 主催イベント等での熱中症対策

### 5-3 暑熱対策

街なかでの暑熱ストレスを減らす工夫及び暑熱対応設備の設置等の暑さ対策

- ☉ 暑熱ストレスを減らす工夫等による街なかでの暑さ対策
- ☉ 国等による暑さ対策の情報収集
- ☉ 敷地内の緑化やみどりのカーテン\*の育成
- ☉ 打ち水の実施
- ☉ 微細ミスト、ひさし等の暑熱対応設備の設置、クールスポットの創出

### 5-4 自然生態系に関する対策

事業活動の投融資等における生物多様性への配慮及び認証品の活用や敷地内の緑化

- ☉ 区ホームページ等による区内動植物情報の確認
- ☉ 自然観察会や自然に関わる講座等、自然と触れ合う機会の提供、参加
- ☉ 外来種の影響や取扱いへの理解
- ☉ 投融資における生物多様性への配慮の確認
- ☉ 認証品の活用
- ☉ 敷地内の緑化
- ☉ 地域における緑化推進活動

